

◇無線端末の無線系評価

[アプリケーション ～*Application*～]

開発・生産現場周辺の不要な電波を極力抑えた環境を作り出す事で、無線端末の無線系の評価が可能となります。

RF ICの開発から、モジュールの生産などの評価が可能です。

[ソリューション ～*Solution*～]

① ■エア接続でのプロトコル試験

- ・ZigBeeのルータと電波暗箱内部に設置されたモジュールに対して、電波暗箱内部に取付けた送受信アンテナにて、双方向接続が行える。
- ・通信プログラム(スニファプログラム)を使用して、プロトコル試験を実施。

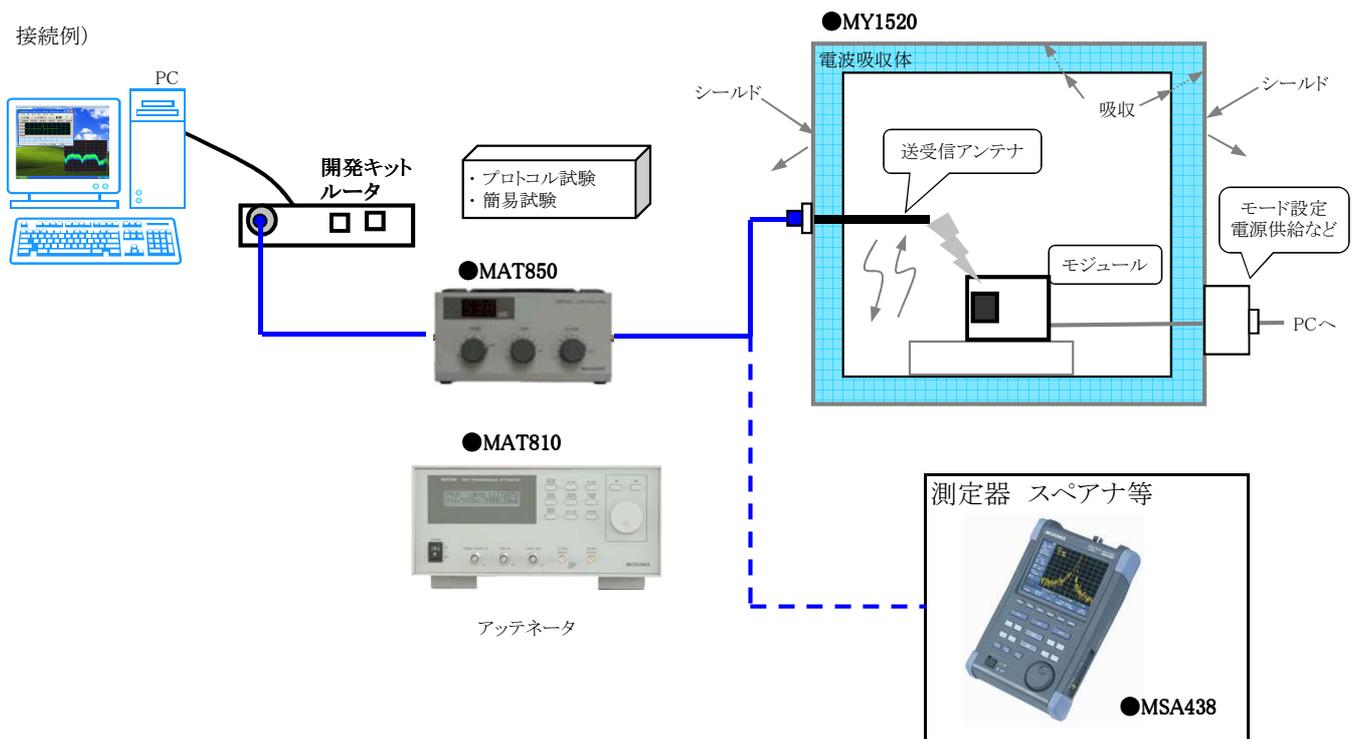
簡易試験

空中線電力の偏差、周波数の偏差、占有周波数帯幅及び拡散帯域幅、副次的に発する電波等の限度の測定試験の実験(参考)

使用周波数

日本では2,400～2,483.5MHzを使用。(902～928MHzは主にアメリカ向け仕様。868～870MHzは主にヨーロッパ向け仕様)

接続例)



[システム構成・価格 ～*System constitution & Price*～]

① 中型：汎用的なサイズ(2.4GHz帯の例)

電波暗箱 MY1520	[478,000円]
電波暗箱用 I/Fモジュール IFM1	[99,000円]
ダイポールアンテナ(2.4GHz帯) M304	[15,000円]
プログラマブルアッテネータ MAT850/810	[368,000円 / 680,000円]
	960,000 ～ 1,272,000 円

※価格は全て税抜き表示です。

※無線機シミュレータ/SG、パワーメータ、他 別途必要な機器もあります。

2023/10